

のぼりべつ文化交流館廃止方針（案）

はじめに

のぼりべつ文化交流館（カント・レラ）は、埋蔵文化財を保存し、及びその活用を図るとともに、教育、文化の向上に資するために設置した、博物館、会議、展示室等の複合施設である。1階は市内の遺跡から発掘により出土した縄文土器など埋蔵文化財の博物館、2・3階は市民の文化活動や会議等で使用されている。また、月に1回ほどの縄文文化をテーマにした体験学習、市内小学校や団体へのガイドや体験などの事業も実施している。

当該施設は旧登別温泉中学校の校舎を活用した学校再生施設である。校舎は昭和53年に建築、平成16年3月に登別中学校との統合により閉校した。

施設は平成18年度に整備し、平成19年6月から開館。令和元年11月の暴風により破損した体育館を令和2年に解体・除却しており、校舎は建築から46年を超えている。

施設の老朽化及び同じく博物館施設である郷土資料館との今後の在り方を検討した結果、のぼりべつ文化交流館については令和7年9月末日をもって廃止することとする。

1 施設の現状について

施設は旧耐震の設計で、耐震診断は未実施である。鉄筋コンクリート3階建てで、経年劣化により外壁と屋上防水シートの劣化が著しい。また、規模の大きい施設であることからキュービクルや火災報知システムなどの設備関係が設置されている。設備等は、平成19年度の開館以降に更新されているが、経年や硫黄ガスによる傷みのため安全な作動への影響が確認されてきており、更新を検討していくべき状況となっている。

2 計画での位置づけについて

令和4年3月に「登別市公共施設等総合管理計画」を改訂、「登別市教育施設等個別施設計画」を策定し、のぼりべつ文化交流館は老朽化等により長期的な使用は難しい状況であることから維持補修により対応すること、そして同じ博物館施設である郷土資料館の耐震の状況を踏まえ、郷土資料館に統合することを検討するとした。

令和4年度に実施した郷土資料館の耐震診断では、一定程度の耐震性が確認されている。

3 郷土資料館への機能統合について

令和6年度の教育行政執行方針において、のぼりべつ文化交流館や郷土資料館の在り方について検討を進めるとしているところである。

検討の結果、郷土資料館を本市の歴史や文化を保管、展示する博物館として今後も活用していくことが重要であること、今後の本市の人口や財政状況、職員数を踏まえて、博物館機能を郷土資料館へ統合することとし、のぼりべつ文化交流館の廃止を進めていくこととなった。

4 廃止時期について

令和7年9月30日で廃止する。

5 今後について

(1) 実施していた事業について

郷土資料館での実施を検討する。

(2) スケジュールの概要（詳細は別紙のとおり）

令和6年度

11月20日～12月19日 廃止方針パブコメの実施

1月下旬 総務・教育委員会：パブコメの結果報告
第10回教育委員会：施設廃止の議案提出

2月中旬 第1回登別市議会定例会：廃止条例の議案提出

3月下旬 第12回教育委員会：廃止規則の議案提出

令和7年度

4～9月末日 通常開館

10月1日 施設廃止

10～11月 館内整理：資料、備品等

地域資料の返還等：見学会の実施等

